

進路だより

令和7年9月1日
兵庫県立姫路聴覚特別支援学校
進路指導部 発行

今年の夏も全国的に大変な暑さとなりましたが、皆さん元気に夏休みを過ごせたでしょうか。中学部、高等部の生徒のみなさんは、休み中にも補習や部活動の練習などに一生懸命取り組んでいました。まだまだ残暑が続くかと思いますが、このあとも体調管理には十分気をつけていきましょう。

さて、今日からいよいよ2学期が始まります。高等部3年生は、すでに夏休み後半から9月以降の就職試験や入学試験に向けて、面接練習や履歴書・入学願書の作成などに取り組んでいます。高等部1、2年生のみなさんや中学部のみなさんも、将来の進路実現に向けて1日1日を大切に過ごし、日々の学習や部活動を通じて基礎学力や基礎体力をしっかりと身につけてほしいと思います。

今回の進路だよりでは、7月に実施した①高等部就業体験のまとめ、②高等部1年生の校内実習の様子をそれぞれ紹介します。

①高等部2年・就業体験

「就業体験」は、実際に職場に出て今まで学校や家庭・地域社会の中で身につけた力が実際どこまで生かせるのかを自覚し、また自分の適性を知り、働くことへの意識を高めるために行う校外学習です。過去にもたくさんの先輩が、この就業体験をきっかけに希望の会社への就職を実現しています。

今年度、高等部3年生の就職希望者は、6月から卒業後の進路につながる企業や施設での結合実習に行きました。また、2年生は7月7日から11日までの5日間、居住地に近い企業や施設での就業体験を行いました。業務多端にも関わらず、就業体験を受け入れて頂いた企業の方々に、この場をお借りして改めて深く感謝申し上げます。

＜補足＞高等部の「就業体験」は、本校のような特別支援学校だけの行事で、地域の普通高校などでは行われていません。自宅から事業所に通って1日8時間の勤務を1週間体験し、自分にどのような仕事ができるのかを考え、また現場の方に仕事への適性等を評価して頂く貴重な機会となっています。

就業体験先の紹介

高等部2年生 就業体験先	住所	実習内容
豊岡こうのとりのり認定こども園	豊岡市	保育
放課後等デイサービスふくろうっこ	神戸市	保育
JR 西日本あいウィル	尼崎市	軽作業
株式会社 阪技	高砂市	事務
NPO 法人 しいの実作業所	豊岡市	軽作業
NPO 法人 OLIVE 福祉会	高砂市	軽作業



事業所からの就業体験の評価〈抜粋〉

<良い評価>

- 立ち仕事が多く体力を使う作業が多かったが、弱音を吐かずしっかり作業に取り組むことができていた。
- 色々と吸収していこうとする態度がみられました。そのような姿勢を今後も多くのことに活かして行って下さい。
- 慣れない環境だったと思いますが、笑顔で接することができ、挨拶や報連相も必要に応じて行うことができていました。
- 説明した機能を翌日には問題なく利用している様子から、PC 作業の遂行能力は十分持っていると思う。

- ・時間を守り、明るく元気な挨拶ができていた。自分から積極的にコミュニケーションを取る力もある。

＜課題となる評価＞

- ・時間を意識できるよう声掛けをすることで、作業のスピードが上がった。
- ・受け答えの際、頷きで終わる場面が何度かあった。きちんと口頭で返答できるようにになれば、尚良いと思う。
- ・はじめは複数の子どもたちに同時に目配りをするのが難しく、戸惑う様子が見られた。
- ・整理整頓が少し疎かに感じた。
- ・作業時にもっと声の大きさや手話の表現をハキハキしていただければ良かった。しっかりメモを取って見返して、内容を理解できるようにして下さい。
- ・人が話をするタイミングでは、相手の話を最後まで聴く事が大切です。
- ・保育は“子どもの姿や思い”を知ることが大切で、そのためにはチームでの様々な視点からの見取りを共有する必要がある。

就業体験後の生徒の感想＜抜粋＞

- ・自分と同じ聴覚障害のある子どもたちとうまく手話で話せるか心配でしたが時々あいまいになることはあっても緊張せずみんなとかかわることができました。困ったときや次何をすればよいかわからないとき、周りの方に聞いてすぐ対応することができました。
- ・遅刻や欠勤することなく実習することができました。返事の時に声が出せなかったので次の実習では声を出せるように頑張りたいです。また、身の回りの整理も次までにできるようになりたいです。
- ・体験先の方の話を理解することが難しかったですが、メモに書いてもらうようお願いしたら楽しく話すことができました。
- ・仕事でわからないことはたくさん聞くことができました。自分から行動することもできましたが、あいさつや返事は小さい声だったので、学校生活の中でもっと練習したいです。

②高等部 1 年・校内実習

高等部 1 年生は 7 月 7 日（月）から 5 日間、校内実習を行いました。出前授業や交流学习なども盛り込んで、充実した内容となりました。

■ 7月7日（月） 「実態把握」・「シャープ特選工業オンライン出前授業」

実態把握では、就業に必要な基礎学力（言葉、数、指示理解など）や筆談の力、基本作業等の確認を行い、自分の得意なことや苦手なことについて考えました。午後からの出前授業では「働くことの意義」について、聴覚障害者の社員の方の講義を聞きました。身近な健康管理から職業適性まで、障害者の視点から具体的な話を聞くことができました。また話の終わりには会社（大阪）と本校（姫路）をオンラインで結んで、お互いに手話を使って双方向で質問を行いました。



■ 7月8日（火） 「カネカ出前授業」・「保健所出前授業」・「実態把握」



カネカ高砂サービスセンターの社員の方を講師に招いて、雑巾やモップ、ダスタークロスなどを用いた清掃作業の基本について、実技指導をして頂きました。丁寧な個別指導を受けて、安全第一に作業することや、仕事としての清掃の大切さを実感することができました。また、午後には保健所の出前授業を受講しました。

■ 7月9日（水） 「受注作業」・「奉仕作業」

受注作業では旭ノ本金属工業様から借り受けたネジの袋入れ作業を体験しました。完成品はそのままホームセンターの売り場に並ぶことを伝え、ミスがないよう緊張感をもって作業に取り組みました。その他に受注作業として使用済みのテニスボールの穴あけ作業を行い、また奉仕作業として校内の清掃を行いました。

■ 7月10日（木） 「姫路工業高等学校」交流学习

姫路工業高校を訪問し、午前中は機械科と電気科の体験授業、午後は生徒会との交流会、部活動見学を行いました。機械科では製図の授業で、CAD の使い方を生徒に教えてもらいました。電気科でははんだごてを使って LED ライトの製作をしました。交流会では生徒会の企画でゲームを行い大いに盛り上がりしました。部活動見学では迫力のある吹奏楽部の演奏や検定間近の化学同好会を見学し、卓球部では実際にラリーの相手をさせてもらいました。今までにない新たな刺激を受け、充実した一日でした。



■ 7月11日（金） 「進路学習」・「三木美術館見学」・「振り返り」



進路学習では、ベネッセのマナビジョンを使い、自分の気になる職業について調べ、視野を広げました。三木美術館では企画展としてさまざまな「青」の絵画や焼き物の作品が展示されており、「青」の奥深さを感じました。姫路城の眼前にあり、屋上からの眺めは素晴らしいものでした。最後に校内実習の振り返りを行いました。

校内実習後の生徒のふりかえり

- 目標の一つに「言われたことを理解し、行動に移す」を掲げました。しっかり聞いて考えると内容はある程度理解できたけど、実行するのはかなり難しかったです。頭の中では分かっているのに、行動に移すのはなかなかできないことが分かりました。1週間で自分を見つめなおすことができてよかったと思いました。
- 作業実習では生徒同士協力しながら、声をかけ合いながら一つ一つ確認ができたのは良かったと思います。反省点は言葉遣いや小さなミスがありましたが、今回学んだことを10月の就業体験に生かして頑張りたいと思います。
- 1週間を振り返ると「諦めないで最後までやり遂げる」ことはできましたが「大きな声であいさつ」は難しかったので、これからは堂々と大きな声であいさつをしたいと思います。さまざまな実習を通して自分ができること、できないことが把握できたので、できないことに関しては今後の課題として直していきたいです。

次は10月に就業体験！

5日間の校内実習を通して、今後の進路目標や今の自分に足りないこと、もっと努力しないといけないことなどいろいろ考えたことと思います。高等部1年生はいよいよ10月に就業体験に行きます。校内実習で学んだこと、感じたことが就業体験で活かせることを心から願っています。

2学期の主な進路行事予定

- 9月 1日(月) 第2学期始業式
5日(金) 就職応募書類発送開始
8日(月) 2学期進学補習開始(高等部)
16日(火)～就職試験開始
9月 下旬～ 内定者指導
10月27日(月)～31日(金) 就業体験(高等部1年、2年就職希望者)
11月 3日(月) 進研模試(高等部1・2年生進学希望者)
11月下旬 中学部3年 姫路女学院高等学校による面接講座
12月期末考査後～ 中学部3年 放課後補習開始
12月期末考査後～ 卒業生の体験を聞く会(高等部・中学部3年・保護者)

2学期の行事予定をしっかりと確認して、それぞれの進路目標に向かって頑張ってください。

※『まなプリ』のご紹介

みなさんは、兵庫県の『学び場検索アプリ』(略して『まなプリ』)をご存じでしょうか。これは、兵庫県教育委員会と神戸大学が共同で運営しているアプリで、障害のある人が学校を卒業した後などでも様々な生涯学習に取り組むことができる施設や活動を見つけることができます。本校のホームページからもリンクされていますので、スマホなどからすぐに利用することができます。お時間のある時に、是非一度ご覧になって下さい。



←本校のトップページに、このようなバナーがありますので、クリックしてみてください。